

## SaaSで激変するソフトウェア・ビジネス

ソフトウェア業界を揺るがす破壊的イノベーション

城田 真琴 著  
毎日コミュニケーションズ 発行  
1500円(税抜き)  
ISBN978-4-8399-2410-2



情報システムの利用形態の1つとして注目が集まるSaaS(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)。このモデルが、ソフトウェア・ビジネスにどのような影響を与えるかを詳細に解説している。

ソフト・ベンダーがSaaS方式に移行する場合、収益構造は大きく変化する。SaaSでは、ソフトのライセンス収入はなくなり、毎月の利用料が収益源となる。満足できない顧客は、最初の1カ月で契約を打ち切られるかもしれない。必然的に、営業担当者は、顧客のアフターフォローに注力することが求められる。

マーケティングの手法も変

わると指摘する。損益分岐点を超えるまでに時間がかかるSaaSベンダーは、ネットに軸足を置いたローコスト・オペレーションを重視せざるを得ない。検索連動広告を駆使し、ストリーミングで訴求力のある説明を繰り返し広げたり、可能な限りの資料を開示したりするなど精巧かつ効率的なネット戦略が不可欠だ。

セールスフォース・ドットコムをはじめとして、新しい波に乗ろうとするベンダー各社の戦略を整理しつつ、市場全体がどのように動こうとしているのかをうまくまとめている。SaaSの最前線を知るには必読の一冊だ。

## 魔法のようなオフィス革命

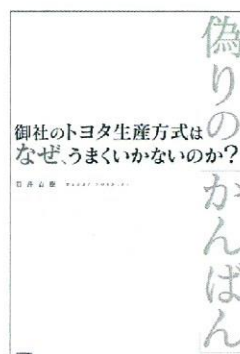


潮田 邦夫/妹尾 大 著  
河出書房新社 発行  
720円(税抜き)  
ISBN978-4-309-50333-2

生産性向上を目的に、「オフィスの改革法」を解説した本。社員同士が自然にコミュニケーションを図れるレイアウトや、探したい資料がすぐに見つかる整理法など内容は多岐にわたる。

著者の1人である日本コムシス専務の潮田邦夫氏は、前職でNTTグループに勤務していたころから、イントラネット上に社員の個人ホームページを立ち上げて相互リンクし、新しい情報共有のあり方を研究してきた人物。実体験を通して得た、知的生産のエッセンスが詰まっている。

## 御社のトヨタ生産方式は、なぜ、うまくいかないのか? 偽りの「かんばん」



若井 吉樹 著  
技術評論社 発行  
1580円(税抜き)  
ISBN978-4-7741-3244-0

トヨタ生産方式の全体像と仕組みを解説する。世の中には、ジャスト・イン・タイムの生産体制を整えるために「かんばん」方式を導入すれば、それがトヨタ方式との誤解がまん延していると著者は注意を促す。流れるようにモノを作ろうとする思想、そして、それを実現するための方法論。一度、頭の中を白紙に戻し、トヨタ方式の本質を理解しなければ、現場の生産活動に生かすことはできないと主張する。事例を交えながら、うまく機能するための生産現場の改善方法を分かりやすく説く。